

なぜ？なぜ？先生

～みんなの不思議～

雷におへそをとられる？

暑い夏の午後に青い空が急に曇ってきて、薄暗くなって雨が降ったことがありますか？ 大粒の雨が「ポツポツ」降り始めたと思う間もなく「ザーザー」と強い降りになって、あわててお家の中に入ったこともありますよね？

空が「ピカッ」と光ったとたんに「ゴロゴロドスン」と大きな音を聞いたことがあるでしょう。大人の人たちが「雷が落ちてびっくりしたね」とお話ししているのを聞いたこともあるでしょう？

「雷」は大きな音だけでなく、森林や草原で火事をおこしたり、人を傷つけたりすることがあるので、遠くで「ゴロゴロ」が聞こえたら、すぐに建物の中に避難することが大切です。

夏に積乱雲という「雲」の中にたまった電気のかたまりが地上に流れるものが「雷」の正体なのです。だから、「雷さんはどこにいるの？」と聞かれて「お空の雲の中」と説明することは決して誤りではありませんが、赤鬼さんや青鬼さんが太鼓をたたくように擬人化することはどうなのでしょう。

お日さまが輝いたり、雨が降ったり、風が吹いたりするいろんなお天気の一つが「雷」だとお話ししてください。園児さんが「雷」におへそをとられることはない気付いてくれると思います。

